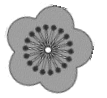


新年 あけまして



おめでとう申し上げます。

みなさまお健やかに、佳い新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も沢山の方々からお年賀状をいただきました。ありがとうございます。会報で賀状に換えさせていただきます。

熊本子どもの本の研究会は、おかげさまで、今年五月には、設立三十四周年を迎えます。設立以来、全国の皆様の温かいご支援、お力添えのお蔭で、子どもの読書活動の輪を全国に広げることが出来ました。

熊本子どもの本の研究会 設立五周年記念事業の一環として、「昔話を楽しむ九州沖縄交流会」を立ち上げ、十周年記念には「くまもとお話の交流会」を立ち上げ、いずれも九州管内、熊本県内で、それぞれの地域の方々のご努力で、毎年開催されております。有難く嬉しいことです。「昔話を楽しむ九州沖縄交流会」は、おかげさまで、昨年三十周年を迎えました。

そこで、二〇一七年度からは、「お話から」子どもの本」へのタイトルで、新たに熊本からスタートします。

会報「子どもの本」は、一九八三年九月に第一号を発行以来、欠けることなく毎月発行し続け、おかげさまで、今回、四〇一号の発行に至りましたこと、同じ活動を続けている全国のみなさまから、素晴らしいことだとおっしゃっていただき、これまでに支えてくださった皆様と、喜びを分かち合いたいと思います。

平成二十九年度の事業計画は次ページに掲載いたしました。只今、子どもゆめ基金に申請中です。それぞれの事業については、「絵本を楽しむ講座」・「お話を楽しむ講座」・「物語を楽しむ講座」のスタッフが、計画の段階からすべて担当しました。わらべうたは、今年も、中山千春さんが担当します。

最近では、会員の多くの方がお勤めの状況ですが、読書環境の裾野を県内全域に広げる努力を続け、子どもたちが読書に親しむように、手助けしたいと願って、会員の皆様と共に活動を続けていきたいと思っておりますので、多くの方が研究会会員になって活動を支えてくださることを願っております。皆様の温かいご支援、お力添え、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成二十九年一月三日

特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会

理事長 横田 幸子